

## 分野別の個別目標に対する進捗状況

## 1. 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実

## (1) がんの1次予防（発生リスクの低減）

★は重点施策

指 標	計画策定時	現状	目標値	備考
がんの年齢調整罹患率 (人口10万人) ・胃がん ・大腸がん ・肺がん ・子宮頸がん ・乳がん(女性) ・肝がん	平成25年度 (2013年度) 60.9 51.8(81.9) 37.1(37.3) 8.1(54.2) 73.2(84.1) 18.4	平成27年度 (2015年度) 57.5 54.4(81.5) 43.9(43.9) 12.3(59.5) 84.2(96.9) 16.1	平成31年度 (2019年度)  各がん部位 低減	島根県がん登録  ( )は上皮内がんを含む値
成人の喫煙率 ・男性(20～79歳) ・女性(20～79歳) ・男性(20～39歳) ・女性(20～39歳)	平成28年度 (2016年度) 27.4% 4.4% 30.3% 7.1%	平成28年度 (2016年度) 27.4% 4.4% 30.3% 7.1%	平成33年度 (2021年度) 12.3% 3.2% 17.7% 5.4%	健康長寿しまね 推進計画
生活習慣のリスクを高める量を飲酒している者の割合 ・男性 ・女性	平成28年度 (2016年度) 14.7% 7.1%	平成28年度 (2016年度) 14.7% 7.1%	平成33年度 (2021年度) 13.0% 6.4%	健康長寿しまね 推進計画
肝炎ウイルス検査未受診者のうち、未発見の感染者数の半減	平成29年度 (2017年度) (調査中)	平成 年度 (20 年度)	平成34年度 (2022年度)(仮) (H30に設定予定)	島根県肝炎対策 推進基本指針

指 標	計画策定時	現状	目標値	備考
敷地内・施設内禁煙、完全分煙を実施している事業所の割合	平成 28 年度 (2016 年度) 74.3%	平成 28 年度 (2016 年度) 74.3%	平成 33 年度 (2021 年度) 100%	健康長寿しまね 推進計画

## (2) がんの2次予防（早期発見・早期受診）

指 標	計画策定時	現状	目標値	備考
臨床進行度 早期がん (上皮内及び限局)の割合 ・ 胃がん ・ 肺がん ・ 大腸がん ・ 子宮頸がん ・ 乳がん(女性)	平成 25 年度 (2013 年度)  55.1% 32.6% 59.3% 80.8% 60.3%	平成 27 年度 (2015 年度)  61.4% 39.2% 55.8% 83.1% 61.9%	平成 31 年度 (2019 年度)  各がん部位 10%増加	島根県がん登録
科学的根拠に基づくがん検診（対策型検診）を実施している市町村数	平成 29 年度 (2017 年度)  15 市町村	平成 30 年度 (2018 年度)  18 市町村	平成 34 年度 (2022 年度)  19 市町村	厚生労働省市区町村におけるがん検診の実施状況調査
市町村が実施するがん検診の精密検査受診率 (男女計、40～74 歳) ※子宮頸がんは 20～74 歳 ・ 胃がん ・ 肺がん ・ 大腸がん ・ 子宮頸がん ・ 乳がん	平成 26 年度 (2014 年度)  80.8% 83.9% 64.9% 69.6% 93.7%	平成 27 年度 (2015 年度)  81.9% 88.4% 72.2% 67.2% 94.1%	平成 31 年度 (2019 年度)  各がん部位 90%以上	地域保健健康増進事業報告

指 標	計画策定時	現状	目標値	備考
島根県全体のがん検診受診率	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 34 年度 (2022 年度)	厚生労働省国民生活基礎調査
・胃がん	45.9%	45.9%	各がん部位 50%以上	
・肺がん	46.6%	46.6%		
・大腸がん	53.8%	53.8%		
・子宮頸がん	40.5%	40.5%		
・乳がん	43.0%	43.0%		

### (3) 各圏域における取組み

#### 【 松江圏域 】

指 標	計画策定時	現状	目標値	備考
松江圏域の大腸がん検診受診率（市町村実施分）	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 33 年度 (2021 年度)	地域保健健康増進事業報告
	9.0%	7.9%	13.5%	

#### 【 雲南圏域 】

指 標	計画策定時	現状	目標値	備考
雲南圏域の大腸がん検診受診率（市町実施分）	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 33 年度 (2021 年度)	地域保健健康増進事業報告
	12.2%	12.7%	20%	

#### 【 出雲圏域 】

指 標	計画策定時	現状	目標値	備考
出雲圏域の胃がん検診受診率（市町村実施分）	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 33 年度 (2021 年度)	地域保健健康増進事業報告
	0.8%	※計数不詳のため空白	1.2%	

### 【 大田圏域 】

指 標	計画策定時	現状	目標値	備考
大田圏域の肺がん検診受診率（市町村実施分）	平成 27 年度 (2015 年度) 18.2%	平成 28 年度 (2016 年度) 16.1%	平成 33 年度 (2021 年度) 50%	地域保健健康増進事業報告
大田圏域の胃がん検診受診率（市町村実施分）	平成 27 年度 (2015 年度) 5.0%	平成 28 年度 (2016 年度) 8.0%	平成 33 年度 (2021 年度) 50%	地域保健健康増進事業報告
大田圏域の大腸がん検診受診率（市町村実施分）	平成 27 年度 (2015 年度) 14.3%	平成 28 年度 (2016 年度) 11.6%	平成 33 年度 (2021 年度) 50%	地域保健健康増進事業報告
大田圏域の子宮頸がん検診受診率（市町村実施分）	平成 27 年度 (2015 年度) 22.8%	平成 28 年度 (2016 年度) 25.5%	平成 33 年度 (2021 年度) 50%	地域保健健康増進事業報告
大田圏域の乳がん検診受診率（市町村実施分）	平成 27 年度 (2015 年度) 22.6%  (併用+マンモグラフィ)	平成 28 年度 (2016 年度) 25.0%	平成 33 年度 (2021 年度) 50%	地域保健健康増進事業報告

### 【 浜田圏域 】

指 標	計画策定時	現状	目標値	備考
浜田圏域の胃がん検診受診率（市実施分）	平成 27 年度 (2015 年度) 2.4%	平成 28 年度 (2016 年度) 4.7%	平成 33 年度 (2021 年度) 5.5%	地域保健健康増進事業報告
浜田圏域の肺がん検診受診率（市実施分）	平成 27 年度 (2015 年度) 4.0%	平成 28 年度 (2016 年度) 4.0%	平成 33 年度 (2021 年度) 8.6%	地域保健健康増進事業報告

指 標	計画策定時	現状	目標値	備考
浜田圏域の乳がん検診受診率(市実施分)※受診率はマンモ単独+マンモ・視触診併用	平成 27 年度 (2015 年度) 21.6%	平成 28 年度 (2016 年度) 24.4%	平成 33 年度 (2021 年度) 30.0%	地域保健健康増進事業報告

### 【 益田圏域 】

指 標	計画策定時	現状	目標値	備考
益田圏域の子宮頸がん検診受診率 ※女性 20～69 歳、市町村+管内医療機関+環境保健公社/推計人口、2 年に 1 回の受診とする。	平成 28 年度 (2016 年度) 33.5%	平成 29 年度 (2017 年度) 30.9%	平成 33 年度 (2021 年度) 50.0%	益田圏域がん検診受診率

### 【 隠岐圏域 】

指 標	計画策定時	現状	目標値	備考
隠岐圏域の肺がん検診受診率(市町村実施分)	平成 27 年度 (2015 年度) 13.8%	平成 28 年度 (2016 年度) 13.5%	平成 33 年度 (2021 年度) 50%	地域保健健康増進事業報告
隠岐圏域の大腸がん検診受診率(市町村実施分)	平成 27 年度 (2015 年度) 12.2%	平成 28 年度 (2016 年度) 10.8%	平成 33 年度 (2021 年度) 50%	地域保健健康増進事業報告
隠岐圏域の乳がん検診受診率(市町村実施分)	平成 27 年度 (2015 年度) 24.4%	平成 28 年度 (2016 年度) 25.1%	平成 33 年度 (2021 年度) 50%	地域保健健康増進事業報告

## 2. 患者本位で将来にわたって安心してがん医療が受けられる体制の推進

### (1) どこに住んでいても安心してがん医療が受けられる体制の構築

指 標	計画策定時	現状	目標値	備考
全がんの5年相対生存率	平成25年度 (2013年度) 62.3% <small>※2008年診断症例</small>	平成27年度 (2015年度) 58.8% <small>※2010年診断症例</small>	平成31年度 (2019年度) 増加	島根県がん登録
納得のいく治療選択ができた患者の割合	平成26年度 (2014年度) 81.9%	平成26年度 (2014年度) 81.9%	平成34年度 (2022年度) 84.5%	国立がん研究センター患者体験調査
医療が進歩していることが実感できていると回答した割合	平成26年度 (2014年度) 77.0%	平成26年度 (2014年度) 77.0%	平成34年度 (2022年度) 80.1%	国立がん研究センター患者体験調査
島根県内のがん診療連携拠点病院の数	平成29年度 (2017年度) 5施設	平成30年度 (2018年度) 5施設	平成35年度 (2023年度) 5施設	島根県健康推進課調査
圏域内受診率（外来）  ・雲南 ・大田 ・益田 ・隠岐	平成27年度 (2015年度)  56.0% 59.7% 88.6% 81.6%	平成28年度 (2016年度)  50.7% 58.8% 86.2% 78.5%	平成33年度 (2021年度)  70.0% 70.0% 90.0% 90.0%	国医療計画作成支援データベース

指 標	計画策定時	現状	目標値	備考
病院から診療所・在宅医療（介護も含む）へ移った際、病院での診療方針が診療所・訪問看護ステーションへ円滑に引き継がれたと思う患者の割合	平成 26 年度 (2014 年度) 72.3%	平成 26 年度 (2014 年度) 72.3%	平成 34 年度 (2022 年度) 72.7%	国立がん研究センター患者体験調査
地域がん診療病院の数	平成 29 年度 (2017 年度) 0 か所	平成 30 年度 (2018 年度) 0 か所	平成 35 年度 (2023 年度) 1 か所	島根県健康推進課調査
24 時間対応が可能な在宅医療を提供している医療機関数（成人）	平成 29 年度 (2017 年度) 164 施設	平成 29 年度 (2017 年度) 164 施設	平成 35 年度 (2023 年度) 増加	島根県医療機能調査（※）
24 時間対応が可能な在宅医療を提供している医療機関数（小児）	平成 29 年度 (2017 年度) 20 施設	平成 29 年度 (2017 年度) 20 施設	平成 35 年度 (2023 年度) 増加	島根県医療機能調査
生殖機能の温存等に関する情報が提供された 40 歳未満患者の割合	平成 26 年度 (2014 年度) 42.7%	平成 26 年度 (2014 年度) 42.7%	平成 34 年度 (2022 年度) 92.8%	国立がん研究センター患者体験調査

## (2) 切れ目のない緩和ケアの提供

指 標	計画策定時	現状	目標値	備考
患者がからだの痛みがないと回答した割合	平成 26 年度 (2014 年度) 54.1%	平成 26 年度 (2014 年度) 54.1%	平成 34 年度 (2022 年度) 57.4%	国立がん研究センター患者体験調査
患者が気持ちのつらさがないと回答した割合	平成 26 年度 (2014 年度) 54.8%	平成 26 年度 (2014 年度) 54.8%	平成 34 年度 (2022 年度) 61.5%	国立がん研究センター患者体験調査
医療者は、患者のつらい症状にすみやかに対応していたと回答した割合	平成 30 年度 (2018 年度) 数値なし (今後国調査で把握)	平成 年度 (20 年度)	平成 34 年度 (2022 年度) 中間評価にて設定予定	国が実施予定の遺族調査※ ※実施時期などの詳細は検討中
患者が痛みがないと回答した割合	平成 26 年度 (2014 年度) 64.0%	平成 26 年度 (2014 年度) 64.0%	平成 34 年度 (2022 年度) 72.0%	国立がん研究センター患者体験調査
緩和ケア研修会を受講した医師の割合	平成 29 年度 (2017 年度) 52.1%	平成 30 年度 (2018 年度) 59.1%	平成 34 年度 (2022 年度) 69.0% ただし、拠点病院 全医師 90.0%以上 卒後 2 年目の医師 100%	島根県健康推進課調査 計算方法：県内で緩和ケアを受講した医師・歯科医師/計算時 最新の県内医師・歯科医師数

指 標	計画策定時	現状	目標値	
			平成 35 年度 (2023 年度)	島根県健康推進 課調査
苦痛のスクリーニングを行っている施設数	平成 29 年度 (2017 年度) 18 施設	平成 29 年度 (2017 年度) 18 施設	平成 35 年度 (2023 年度) 28 施設	島根県健康推進 課調査
患者が望んだ場所で過ごせたと回答した割合	平成 30 年度 (2018 年度) 数値なし (今後国調査 で把握)	平成 年度 (20 年度)	平成 34 年度 (2022 年度) 中間評価にて 設定予定	国が実施予定の 遺族調査※ ※実施時期など の詳細は検討中
成人の患者に対してがん性疼痛等に対する緩和ケアが実施できる診療所	平成 29 年度 (2017 年度) 98 施設	平成 29 年度 (2017 年度) 98 施設	平成 35 年度 (2023 年度) 増加	島根県医療機能 調査
成人の患者に対して医療用麻薬を提供できる体制を有する医療機関	平成 29 年度 (2017 年度) 228 施設	平成 29 年度 (2017 年度) 228 施設	平成 35 年度 (2023 年度) 増加	島根県医療機能 調査
緩和ケアネットワーク会議を開催している圏域	平成 28 年度 (2016 年度) 6 圏域	平成 29 年度 (2017 年度) 5 圏域	平成 35 年度 (2023 年度) 7 圏域	島根県健康推進 課調査
患者が医療機関で診断や治療を受ける中で、患者として尊重されたと思っている割合	平成 26 年度 (2014 年度) 79.6%	平成 26 年度 (2014 年度) 79.6%	平成 34 年度 (2022 年度) 80.7%	国立がん研究 センター患者 体験調査

### 3. 尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

#### (1) 患者・家族の治療や療養生活の悩みが軽減するための支援

指 標	計画策定時	現状	目標値	備考
自分らしい生活を送れていると回答した患者の割合	平成 26 年度 (2014 年度) 72.1%	平成 26 年度 (2014 年度) 72.1%	平成 34 年度 (2022 年度) 77.7%	国立がん研究センター患者体験調査
相談する場があったと回答した患者の割合	平成 26 年度 (2014 年度) 69.4%	平成 26 年度 (2014 年度) 69.4%	平成 34 年度 (2022 年度) 81.3%	国立がん研究センター患者体験調査
がん相談支援センター利用者満足度	平成 26 年度 (2014 年度) 71.0%	平成 26 年度 (2014 年度) 71.0%	平成 34 年度 (2022 年度) 81.4%	国立がん研究センター患者体験調査
がん患者・家族サポートセンターが実施する資質向上研修を受講した病院の割合	平成 28 年度 (2016 年度) 64%	平成 30 年度 (2017 年度) 46%	平成 34 年度 (2022 年度) 100%	島根県健康推進課調査
がん相談支援センターを知っていると回答した患者の割合	平成 28 年度 (2016 年度) 49.7%	平成 28 年度 (2016 年度) 49.7%	平成 33 年度 (2021 年度) 60%	島根県県民健康調査
ピアサポート利用者満足度	平成 30 年度 (2018 年度) 数値なし (今後調査で把握)	平成 年度 (20 年度)	平成 34 年度 (2022 年度) 中間評価にて設定予定	島根県健康推進課調査

指 標	計画策定時	現状	目標値	備考
小児・AYA 患者家族が、相談体制が整っていると感じている割合（仮）	平成 30 年度 （2018 年度） 数値なし （今後実態調査で把握）	平成 年度 （20 年度）	平成 34 年度 （2022 年度） 中間評価にて 設定予定	島根県健康推進 課調査
小児・AYA 患者家族が、不安や悩みが軽減されていると感じている割合（仮）	平成 30 年度 （2018 年度） 数値なし （今後実態調査で把握）	平成 年度 （20 年度）	平成 34 年度 （2022 年度） 中間評価にて 設定予定	島根県健康推進 課調査
小児・AYA 患者家族が、保育・教育を受けられる環境が整備されていると感じている割合（仮）	平成 30 年度 （2018 年度） 数値なし （今後実態調査で把握）	平成 年度 （20 年度）	平成 34 年度 （2022 年度） 中間評価にて 設定予定	島根県健康推進 課調査
がんによる休職後の復職率	平成 26 年度 （2014 年度） 76.2%	平成 26 年度 （2014 年度） 76.2%	平成 34 年度 （2022 年度） 84.5%	国立がん研究センター患者体験調査
就労とがん治療を両立させるために勤務先から支援が得られたがん患者の割合	平成 26 年度 （2014 年度） 82.5%	平成 26 年度 （2014 年度） 82.5%	平成 34 年度 （2022 年度） 85.0%	国立がん研究センター患者体験調査

## (2) がんを正しく理解し、がんに向き合うためのがん教育

指 標	計画策定時	現状	目標値	備考
がん患者が周囲の人（家族、友人、近所の人、職場関係者など）からがんに対する偏見を感じると回答した割合	平成 26 年度 (2014 年度) 5.5%	平成 26 年度 (2014 年度) 5.5%	平成 34 年度 (2022 年度) 2.8%	国立がん研究センター患者体験調査
がん患者が家族以外の周囲の人（友人、近所の人、職場関係者など）から不必要に気を遣われていると感じると回答した割合	平成 26 年度 (2014 年度) 20.4%	平成 26 年度 (2014 年度) 20.4%	平成 34 年度 (2022 年度) 15.1%	国立がん研究センター患者体験調査
学校におけるがん教育の実施率	平成 29 年度 (2017 年度) 数値なし (今後調査で把握) %	平成 年度 (20 年度)	平成 34 年度 (2022 年度) 中間評価にて 設定予定 %	島根県教育委員会調査
学校におけるがん教育に関する校内研修の実施率	平成 29 年度 (2017 年度) 数値なし (今後調査で把握) %	平成 年度 (20 年度)	平成 34 年度 (2022 年度) 中間評価にて 設定予定 %	島根県教育委員会調査
がん教育の外部講師養成研修の累計受講者数 (H29 (2017) 年度～H34 (2022) 年度の累計)	平成 29 年度 (2017 年度) 36人	平成 30 年度 (2018 年度) 115人	平成 34 年度 (2022 年度) 200人	島根県健康推進課調査

指 標	計画策定時	現状	目標値	備考
がん教育を公開実施した学校の割合	平成 29 年度 (2017 年度) 数値なし (今後調査で把握) %	平成 年度 (20 年度)	平成 34 年度 (2022 年度) 中間評価にて 設定予定 %	島根県教育委員会調査
しまね☆まめなカンパニー登録事業所数	平成 30 年度 (2018 年度) 数値なし (今後調査で把握) 箇所	平成 30 年度 (2018 年度)  1 4 6 カ所	平成 34 年度 (2022 年度)  増加	島根県健康推進課調査

※ 県内病院及び訪問看護ステーション並びに一部の診療所及び助産所に対して医療機能の現状を調査、その結果を計画に掲載し公表されることについて了解の上、当該医療機関 を持っていると回答した機関の数。以下、本調査の結果を引用しているものについては、特に記載がある場合を除き同様の集計方法による。